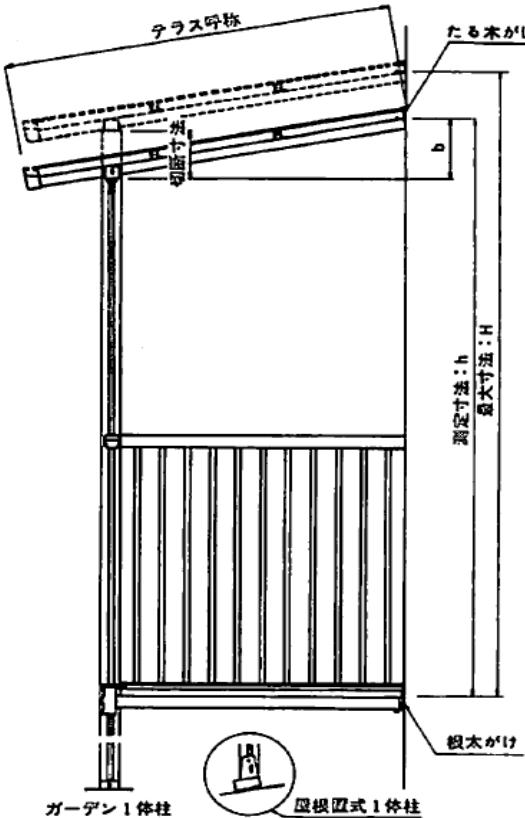


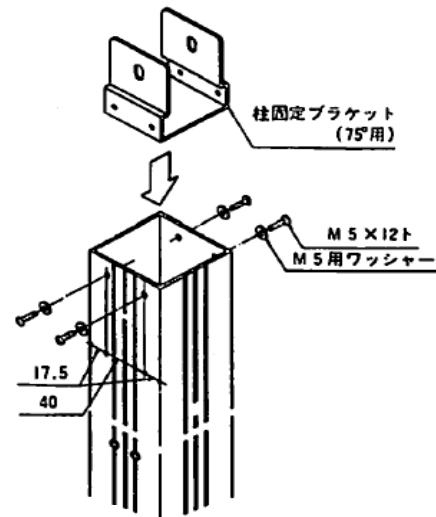
バルコニー1体柱取付説明書

取説番号 NM-409

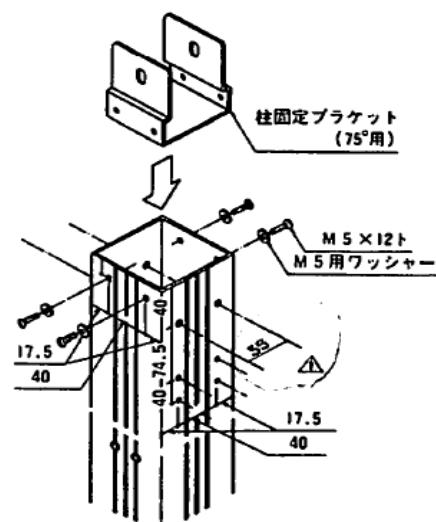
■バルコニー1体柱テラス側面図■



■E型柱上部加工■



■Y型柱上部加工■



下記の加工方法はバルコニー2型とテラスを1体柱で納めた場合のものです。

① 柱下端の加工 (バルコニーの取説参照)

1. 根太かけの位置を決めて軸体に取り付けて下さい。
2. 柱の下端の寸法を決めて加工して下さい。

② 柱上端の加工

1. 製品を切り詰めせずに取り付けますと、根太かけ上端からたる木かけ下端までの最大寸法Hは上表の様になります。
2. たる木かけの位置を決め、根太かけ上端からたる木かけ下端までを実測して下さい。これを測定寸法hとします。
3. 切断寸法を次の式より計算して下さい。

※最大寸法Hは出巾によって異なりますのでご注意下さい。

$$\text{切断寸法} = \text{最大寸法H} - \text{測定寸法h}$$

4. 柱の上端から切断寸法を計り、切断して下さい。
5. 柱固定ブラケット(75°柱用)の孔をバルコニー1体柱垂木固定ブラケット用あて紙を使ってあけて下さい。さらにY型の場合は桁取付用の孔をバルコニー1体柱桁受ブラケット用あて紙を使ってあけて下さい。

■ 注意事項

- 新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリヤーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異常腐食をおこし思ひのトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点を注意してください。
- ①アルミ製品と鋼板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。
接觸する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
 - ②積入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますのでその使用は避けさせてください。アルミと接觸する部分には木材に塗装するようにしてください。
 - ③モルタル用に海砂を使用されると、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用

を避けていただきか、十分水洗いしたものを使用してください。

- ④モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。
抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
- ⑤モルタルやコンクリートの急乾燥剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただきか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硫酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- ⑥施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。
また、表面にキズをつけると腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- ⑦腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接觸しないようにしていただきか、接觸する部分を完全に塗装してください。